

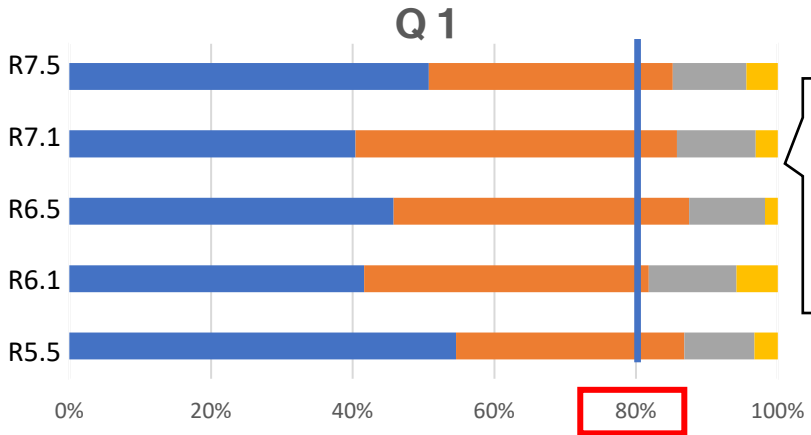
研究調査部活動報告 R5年度5月, 1月 R6年度5月, 1月 R7年度5月

研究調査部では、主にアンケート、イングリッシュタイム、イングリッシュカフェの3つの活動を行いました。

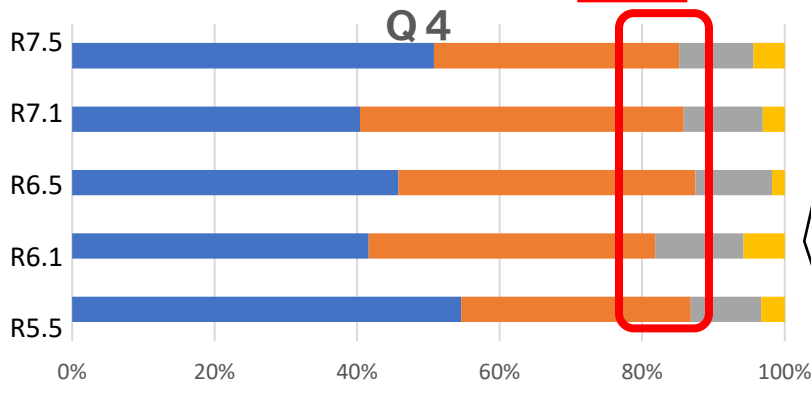
◇アンケート結果の比較

【仮説1に関わる設問】

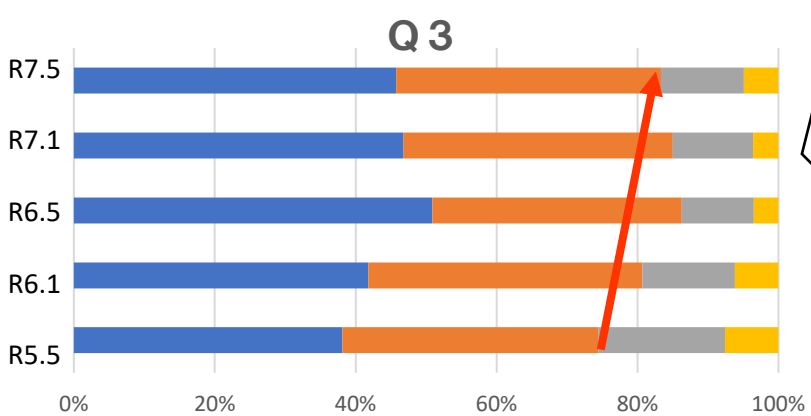
■ はい ■ どちらかといえばいいえ
■ どちらかといえばはい ■ いいえ



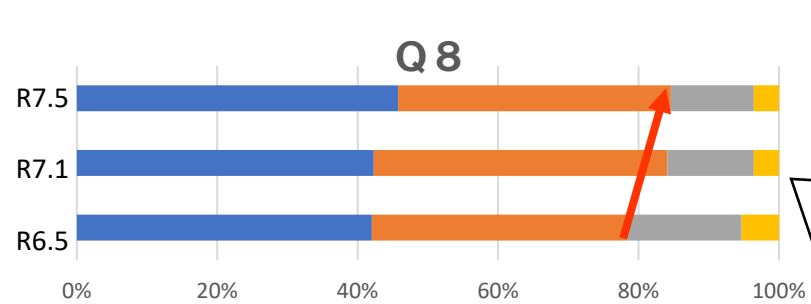
Q1. 外国語の授業が好きだ
肯定的回答が、R6 1月82%→
R7 5月86.8%
常に8割台



Q2. 外国語の授業に進んで参加している
肯定的回答が
87.9%~92.5%で推移
8割後半から9割前半



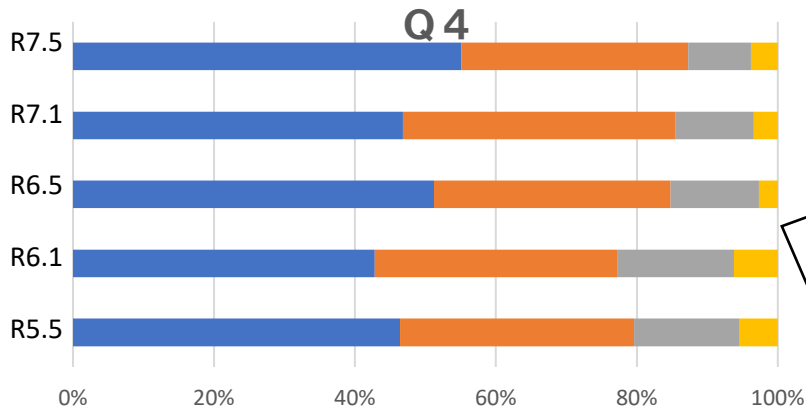
Q3. 先生や友達が英語で話したことが分かる
肯定的回答が
R5 5月74.4%→
R7 5月83.4%
9%上昇



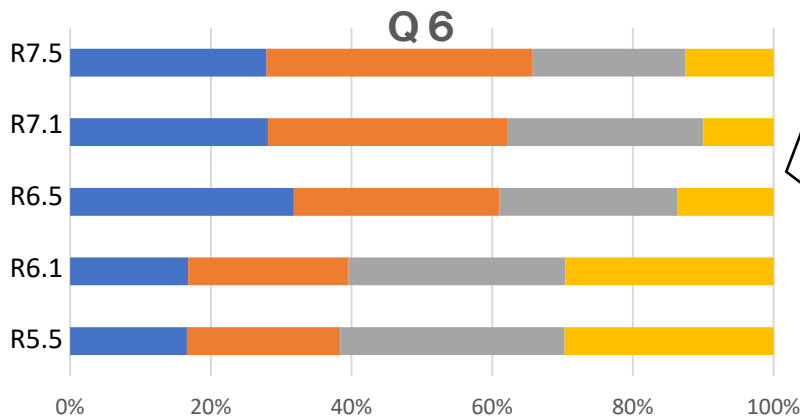
Q8. 4つの大切を意識して、英語を話している
R6 5月78.3%→
R7 1月84.7%
6.4%上昇

⇒**仮説1**の様々な研究の取り組みによって、児童にとって親しみやすい授業が展開されると共に、「4つの大切」等意識した温かい学級の雰囲気により、**安心して楽しみながら英語を学ぶことができた**のではないかと考えられる。さらに、インプットを多く取り入れた授業やイングリッシュタイムなどを重ねることで、**聞き取りに自信をもてるようになり、英語を理解しようとする意識や英語を話そうとする意欲が高まっていった**と考えられる。

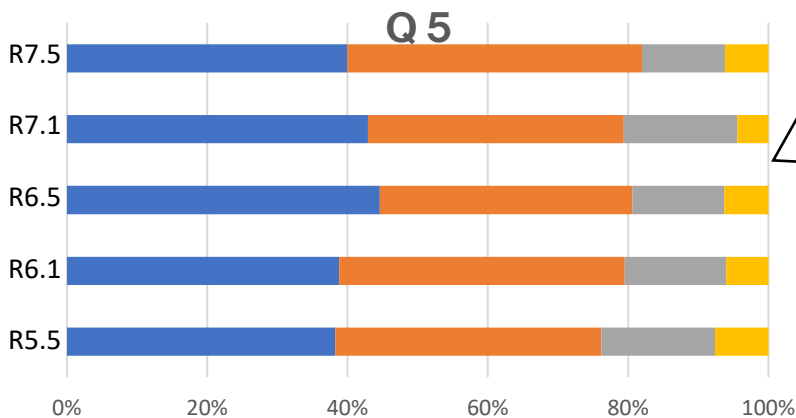
【仮説2に関わる設問】



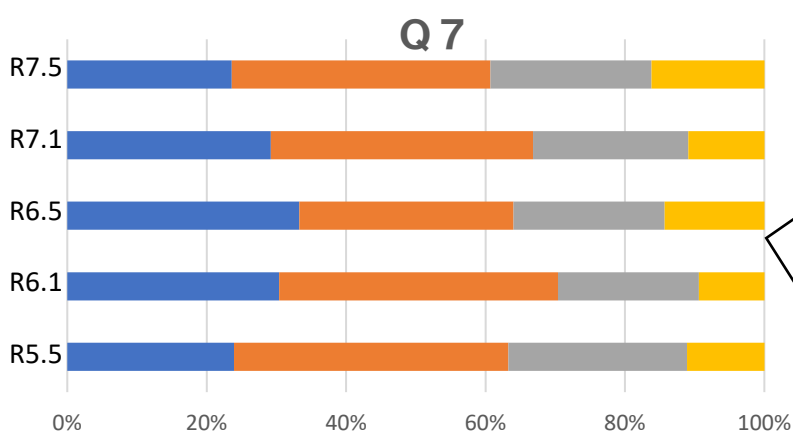
Q4.英語で先生や友達とやりとりすることは楽しい
 肯定的回答が、R5 5月80%
 →R7 5月87.3%
約7.3%上昇



Q6.グループやクラスの前で話すことは楽しい
 肯定的回答が、
 R5 5月38%→
 R6 1月62%→
 R7 5月66.4%
28.4%と大きく伸長



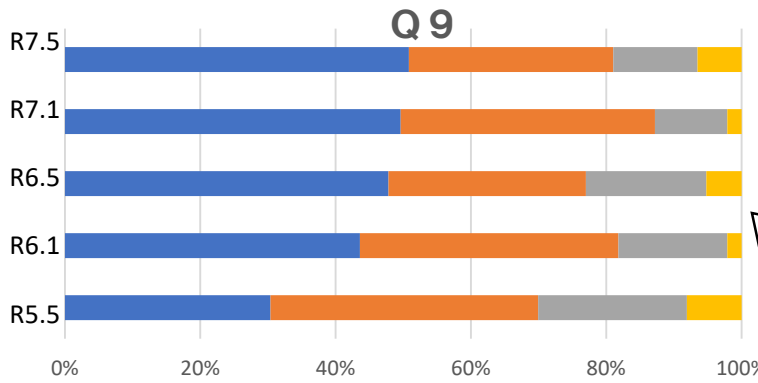
Q5.英語で先生や友達とやりとりすることができる
 肯定的回答が、R5 5月76%
 →R7 5月82%
 徐々に**数値が上昇**



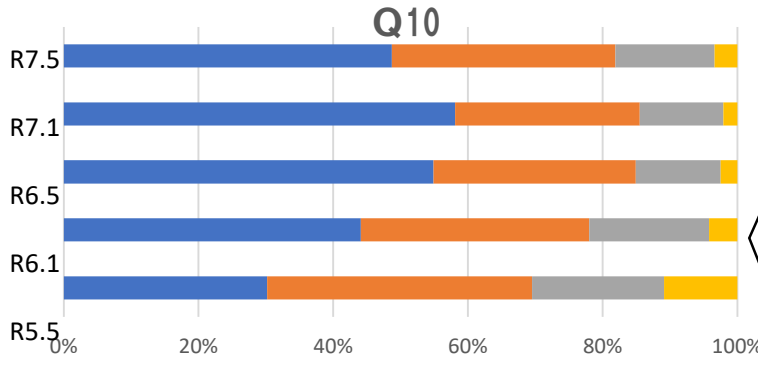
Q7.グループやクラスの前で話すことができる
 肯定的回答が、
 R5 5月63.2%→
 R7 5月60.7%
およそ60~70%の間を前後

⇒**仮説2**の「目的や伝え合う必然性のある活動の設定」「4つの大切を意識させるための工夫」が充実した授業づくりをしてきたことが、**英語でのやり取りを楽しむ児童の姿につながった**のではないかと。しかし「**話せた**」という**手ごたえを感じる**までには**至っていない**ことから、今後は、児童の考えを引き出すための工夫と、自分のもつ英語のスキルを駆使して、伝えたいことを伝えようとする意欲と自信を育てていくことが必要だと考えられる。

【仮説3に関わる設問】



Q9.習った英単語や英文を読むことができる
 肯定的回答が、
 R5 5月70.2%から
 R7 1月85.5%へ
 ※R7 5月81.9%
15%上昇
8割前半へ伸びる



Q10「習った英単語や英文を書き写すことができる」
 肯定的回答が、
 R5 5月69.5%から
 R6 1月81.9%
12.4%上昇

※Q9,10は5,6年生のみ実施

⇒**仮説3**の研究内容に取り組み、実践を繰り返すことで、読むことと書くことへの自信が伸長していると考えられる。今後も、授業だけでなく、学校生活の様々な場面で、外国語に繰り返しふれる機会の充実を図り、外国語に慣れ親しみながら、楽しく取り組ませたい。そして、これらの活動を通して、児童の「できた」「わかった」という自信を育てていきたい。



教師に英語で説明する



映像を見せながら話す



教師同士のスモールトークからインプットする



友達の発言にグットサインをする

◇イングリッシュタイム

- ・外国語活動の充実を図るための研究・実践
- ・月1回（毎月最初の水曜日），朝の学習の時間（8：10～8：25）
- ・R6年の活動内容

日付	内容
7月3日	ALT の自己紹介(小学校の様子など)
9月4日	ALT の自己紹介(自国・小学校の紹介など)
10月2日	英語の歌・体の部位(英語専科・ALT)
11月6日	学年・ブロックごとの活動①
12月4日	読み聞かせなど(英語専科・ALT)
1月15日	学年・ブロックごとの活動②
2月5日	学年・ブロックごとの活動③
3月5日	予備日



イングリッシュタイム案内進行の放送をする教師



テレビ放送時のクラスの様子



英語の歌・体の部位の放送



学年ごとの活動(6年:誕生日バスケット)



ALTによる異文化紹介



学年ごとの活動(既習した英語を使っでの会話)

◇イングリッシュカフェ（ミニ職員研修）

- ・外国語指導の授業で扱うトピックをもとに、英語の実践的な力を養い、職員一人一人が研究への意識を高めることを目的として実施。
- ・水曜日打合せに実施（5～10分程度）
- ・各学年の調査研究部員を中心に担当学年が準備
- ・カフェの話題：行きたい国、好きなキャラクター、週末したことなどのペアでのやりとり、英語のゲーム



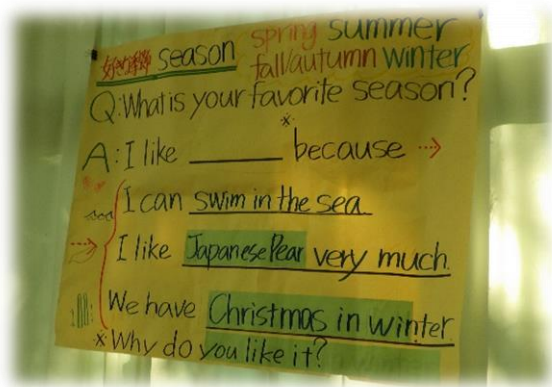
デモンストレーション



職員室で実施



ペアでコミュニケーション



キーセンテンス



グループで和気あいあいと



アイコンタクトをとりながら